



# 目次

株主の皆様へ	1
トピックス	3
連結財務諸表の要旨	7
業績等(連結)の推移	
株主メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
会社概要等	_
7 1 W 2 ()	

# 新日鐵住金株式会社

証券コード:5401

# 株主の皆様へ



代表取締役社長 進藤 孝生

株主の皆様の日頃の御理解・御支援に、心からお礼申しあげます。 当社はこの10月に、経営統合から2年を迎えました。世界の鉄鋼市場は、平成27年までにアジアにおいて新たな製鉄所が次々と稼働を開始し、需給ギャップが拡大する厳しい状況が予想されます。こうした環境の下、当社としては、引き続き平成25年3月に策定した中期経営計画の完遂に向けて、各種施策を強力に推進し、世界最高水準の競争力の実現と持続的な利益成長を目指してまいる所存です。

### (当上半期の事業・決算の概況)

平成26年度上半期(本年4月1日から9月30日まで)の事業の概況につきまして、御報告申しあげます。

世界経済については、中国やその他新興国における成長ペースの鈍化が続いたものの、米国については好調な企業業績を背景に引き続き景気が改善し、全体として緩やかな成長が継続しました。

日本経済については、消費税増税影響等による個人消費の低迷は続いたものの、企業収益の持ち直しによる設備投資の復調や公共投資の前倒し発注等もあり、景気は緩やかながらも回復してきました。

国内鉄鋼需要については、土木・建築部門での季節差等による減少や、一部製造業向けにおける消費税増税影響等はあったものの、これらの影響を除けば、復興需要の本格化や設備投資の回復等もあり、概ね堅調でした。また、輸出については、世界経済の緩やかな回復を背景に、概ね堅調に推移しましたが、国際市況は、中国鉄鋼メーカーによる高水準の生産が継続したこと等から、予断を許さない状況が継続しました。

こうした状況下、当社グループ全体で収益改善に向けた取組みを継続し、当上半期の連結業績につきましては、売上高は2兆7,784億円、営業利益は1,355億円、経常利益は1,763億円及び純利益は1,122億円となりました。

当社では、本年1月以降、名古屋製鐵所において、停電事故及び火災事故が計5件発生しました。株主及び関係者の皆様に多大な御心配と御迷惑をおかけし、深くお詫び申しあげます。現在、私を本部長とする危機管理本部の下に社外有識者を含めた事故対策委員会を設置し、個々の事故原因の究明と再発防止に向けた対策の検討及び実行に全社を挙げて取り組んでおります。その取組みのひとつとして、本年11月1日付にて、防災、エネルギー等に関して全社的な機能強化のため、名古屋製鐵所及び本社における関係組織の改正を行いました。

#### (当第2四半期末の剰余金の配当)

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、本報告書9頁に記載の基本方針に従い1株につき2円(連結配当性向16%) とさせていただくことと致しました。

#### (今後の見通し)

世界経済については、中国やその他新興国の成長ペースの鈍化が続くものの、米国経済は引き続き 堅調に推移すると見込まれます。日本経済については、消費税増税の影響はあるものの、緩やかに回 復し、総じて堅調に推移すると見込まれます。

国内鉄鋼需要については、消費税増税影響による需要減はあるものの、底堅い公共投資や設備投資の増加により、全体として堅調に推移すると見込まれます。輸出についても、堅調な米国経済を背景に世界鉄鋼需要は概ね順調に推移することが見込まれますが、国際市況については、中国鉄鋼メーカーによる高水準の生産が続くことが懸念されるなか、鋼材需給の動向やアジア市況の動向等について予断を許さない状況が継続すると見込まれます。

こうしたなか、当社としては、中期経営計画の完遂に向けて、計画に掲げた各種施策を引き続き強力に推進していくなど、最大限の経営努力を継続するとともに、適正な販売価格を確保すべく、需要家の皆様に御理解いただけるよう丁寧な対応を図っていく所存です。

平成26年度通期としては、名古屋製鐵所のコークス炉火災事故の影響等はあるものの、国内を中心とした堅調な需要動向への着実な対応、コスト改善の継続等により、本年7月31日の第1四半期決算発表時に見通しとして公表致しました連結経営利益4.000億円を目指したいと考えております。

また、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定です。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ、以上の諸事情を御賢察のうえ、今後とも御理解と御支援を 賜りますよう、お願い申しあげます。

# トピックス

#### 当上半期における各事業の活動状況をご紹介致します。

#### 製鉄事業

中期経営計画で掲げた諸施策の推進状況をご報告致します。

■グローバル戦略の推進



#### ●インドにおける自動車用冷延鋼板工場の営業運転を開始しました

当社とインドのタタ社が同国に設立した自動車用冷延鋼板の製造・販売を目的とした合弁会社が本年5月より営業運転を開始し、9月1日に政府関係者や需要家等の関係者を招いて開所式を行いました。

# ②インドネシアにおける自動車用鋼板製造・販売合弁事業の最終契約を締結しました

当社とインドネシアのクラカタウ社は同国における自動車用鋼板製造・販売事業を行う合弁会社を設立し、事業化に向けた詳細の検討を進めてまいりましたが、本年8月11日に最終契約を締結しました。

#### ③中国における冷間圧造用鋼線の製造・販売会社の能力を増強します

当社は、中国における冷間圧造用鋼線の製造・販売会社であるNBC中国の能力増強及び加工体制の拡充を行うことを決定しました。新工場建設用地は蘇州呉中経済開発区に定め、平成27年6月の操業開始を目指して、本年6月12日に新工場建設に着手しました。



開所式の様子



連続焼鈍設備 (C.A.P.L.)

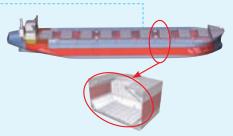
#### ■技術先進性の発揮

#### 「7%ニッケル鋼板」がカナダ産シェールガスを 受け入れるLNGタンクに採用されることが決まりました

当社が開発した半世紀ぶりの新規格製品であるLNGタンク用「7%ニッケル鋼板」が、福島県相馬港のLNG受入基地 (相馬LNG) に建設される国内最大級の地上式LNGタンクに採用されました。相馬LNGはカナダのブリティッシュ・コロンビア州で産出するシェールガスを受け入れる基地であり、完成は、平成29年度内を予定しています。当社は、タンクを製作する㈱IHIから約3,500トンの鋼板を受注しました。

#### 衝突安全性に優れた造船用鋼板を世界で初めて実用化しました

当社が開発した、衝突安全性に優れた高延性造船用鋼板「NSafe®-Hull (エヌセーフ ハル)」が、今治造船(株)、独海上技術安全研究所との実用化に向けた共同研究を経て、本年8月に進水した(株)商船三井の船舶(ばら積み船)に世界で初めて採用されました。「NSafe®-Hull」は、従来の施工性を維持しながら、従来の鋼材に比べて破断しにくい性能を持ち、船体に穴が開きにくいため、浸水防止や貨物保護、深刻な海洋汚染につながる油流出を防止する役割を担います。



NSafe®-Hullが採用された部位(赤色及び黄色部分)

### フルアクティブサスペンションが市村産業賞「貢献賞」を 受賞しました

当社は、鉄道車両の揺れを大幅に抑えることが可能な振動制御装置(フルアクティブサスペンション)を世界で初めて、かつ唯一、実用化に成功しております。この技術開発について、我が国の鉄道技術の向上に貢献したこと等が評価され、第46回(平成25年度)市村産業賞「貢献賞」を受賞しました。同賞は優れた国産技術の開発で産業分野の発展に貢献・功績のあった技術開発者を表彰する伝統と権威ある賞です。



フルアクティブサスペンションが採用された 北陸新幹線用の新型車両 (写真提供:東日本旅客鉄道㈱)

#### 手術室の免震化技術を共同開発しました

当社と清水建設㈱は、既存手術室の耐震化の促進を目的に、薄手の鋼板2枚を重ねただけの非常にシンプルな構造で、高い免震効果を発揮するローコストな床免震システムを共同開発しました。この装置の導入により、大地震の際の医療設備・機器の移動・転倒防止を図ります。

#### 世界最高強度の建築構造用超高張力鋼材が採用されました

世界最高強度の建築構造用超高張力鋼材1000N級鋼「BT-HT880」が (株)大林組の技術研究所実験施設の柱材に採用されました。1000N級鋼を 採用することで、鋼材の薄肉化・軽量化による輸送コストの低減や溶接個 所・溶接量の削減による加丁・施丁の丁期短縮等が期待されます。



1000N級鋼が採用された (株)大林組の技術研究所実験施設

#### ■世界最高水準のコスト競争力の実現

#### 大型原料輸送船「VALE MAX」の受け入れ体制を整備しています。

当社は、ブラジルのヴァーレ社が運航する40万トン級大型船(通称VALE MAX)を鹿島製鐵所にて初めて受け入れました。同船は、日本が過去受け入れてきた鉱石船の中で最大船型で、既に大分製鐵所、君津製鐵所にて受け入れておりました。今回、新たに鹿島製鐵所で受け入れることにより、さらなる原料輸送費低減を目指します。



鹿島製鐵所に入港するVALE MAX

### ■ブランド戦略

# 棒線事業の新ブランド 「SteeLinC® (スティーリンク)」を立ち上げました

当社の棒線事業部は、棒鋼・線材の加工メーカー各社とともに、新たな統一事業ブランド「SteeLinC® (スティーリンク)」を立ち上げ、本年10月1日より運用を開始しました。当社及びメンバー各社は、SteeLinC®のブランドの下、「製造実力(基本品質力・現場力)」の強化、「高機能・ハイエンド商品」の開発・適用の加速、「鋼材の加工工程も含めた(「鋼材×工法」)技術開発やサプライチェーン」の強化・拡充を進め、より一層、お客様にとっての商品価値向上や生産性向上に貢献してまいります。



SteeLinC®はSteel (新日鐵住金の棒線)・Link (つながり)・Customer (お客様) を組み合わせた造語です

### エンジニアリング事業

新日鉄住金エンジニアリング㈱は、欧州の環境プラントエンジニアリング企業でトップ集団に入るドイツのFisia Babcock Environment GmbH社(現 Steinmüller Babcock Environment GmbH社)の株式全部を取得しました。両社で互いの強みを生かして、事業基盤の強化を図っています。

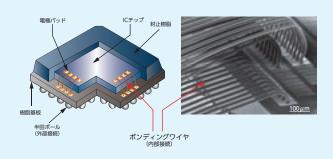




同社がスウェーデンで手掛けたごみ焼却施設(左)と同社の新社名ロゴ(右)

#### 新素材事業

新日鉄住金マテリアルズ㈱のグループ会社である日鉄住金マイクロメタル㈱は、EXワイヤ(表面処理銅ワイヤ)の開発に関して平成26年度文部科学大臣表彰「科学技術賞(開発部門)」を新日鐵住金㈱とともに受賞しました。



半導体パッケージの構造(左)とEXワイヤの実装例(右)

### 化学事業

新日鉄住金化学㈱は、品質優位性を有するディスプレイ材料をはじめ、回路基板材料、有機EL材料等の機能材料事業分野で、拡大するモバイル端末向けの需要に対応しています。



液晶ディスプレイ向けカラーフィルター用レジスト材料「エスファイン®」

### システムソリューション事業

新日鉄住金ソリューションズ㈱は、次世代型データセンターと基幹システム向けクラウドサービス「absonne(アブソンヌ)」をコアに、お客様固有の業務ニーズを実現する最適なITインフラサービスを提供しています。



次世代型データセンターである第5データセンター(右はオペレーションルームの様子)

# 連結財務諸表の要旨

### ■連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成26年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	22,423
固定資産	48,469
資産合計	70,892
負債の部	
流動負債	17,000
固定負債	20,154
負債合計	37,155
純資産の部	
株主資本	24,370
その他の包括利益累計額	3,798
少数株主持分	5,568
純資産合計	33,737
負債純資産合計	70,892

### 連結損益計算書

(単位:億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から) (平成26年9月30日まで)
売上高	27,784
売上原価	24,089
売上総利益	3,695
販売費及び一般管理費	2,340
営業利益	1,355
営業外収益	805
営業外費用	397
経常利益	1,763
特別利益	52
特別損失	101
税金等調整前四半期純利益	1,714
法人税等	513
少数株主利益	77
四半期純利益	1,122

### ■セグメント情報(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:億円)

	報告セグメント					四半期		
	製鉄	エンジニア リング		新素材	システム ソリュー ション	合計	調整額	連結損益 計算書 計上額
売上高	24,662	1,553	1,122	182	948	28,469	△684	27,784
セグメント利益	1,591	48	43	11	72	1,768	△5	1,763

<sup>※</sup>金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

# 業績等(連結)の推移

#### 業績

売上高(億円) 経常利益(億円)

---- ROS(売上高経常利益率:%)

#### 28,716----28,415 27,784 7.8 25.430 .24,343 \_\_\_\_\_22,963 2,237<sup>2</sup> 6.6 1.06 6.3 20,779 0.961.874 -(1)+(2)1,763<sup>1</sup> 0.86平成26年度 0.74 通期見通し 連結経常利益 4.000億円 平成26年度 平成26年度 平成25年 平成25年 平成26年 平成25年度 下半期 上半期 下半期 3月末 9月末 3月末 9月末 (予想) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績) (実績)

財務体質

有利子負債残高(億円)

D/E レシオ(有利子負債自己資本比率:倍)

#### <平成26年度通期業績見通し>

平成26年度通期の業績見通しにつきましては、名古屋製鐵所のコークス炉火災事故の影響等はあるものの、国内を中心とした堅調な需要動向への着実な対応、コスト改善の継続等により、前回公表の連結経常利益4,000億円を目指したいと考えております。

# 株主メモ

# 配当の基本方針について

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準と致します。

なお、第2四半期末の剰余金の配当は、中間期業績及び年度業績見通しを踏まえて判断することとしております。

# 株主優待について

当社は、見学会・説明会をはじめ、各種優待を実施致します。詳細につきましては、対象の株主様に御案内申しあげます。

#### ■見学会・説明会

項目	内 容	案内回数 (実施時期)	案内対象
工場見学会への 御招待(抽選)	製鉄所、製造所の見学に御招待致します。 /年に2回(春と秋)、各回4~5カ所の製鉄所・製造所で開催します) ので、その中から1カ所を選択して御応募いただけます。	年2回案内 (3~4月頃、) (10~11月頃)	9月末・3月末における <b>10.000株以上</b>
経営概況説明会への 御招待(抽選)	東京・大阪をはじめ、各地で開催致します。	年2回案内 (7~9月頃、 (2~3月頃)	保有の株主様

### ■各種優待

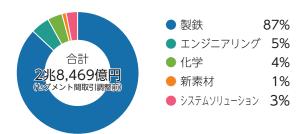
項目	内 容	案内回数 (実施時期)	案内対象
鹿島アントラーズ 観戦御招待 (抽選)	J1リーグ戦(ホームゲーム又はアウェイゲーム) に御招待致します。	年2回案内 (4~8月頃、) (8~12月頃)	9月末・3月末における <b>5,000株以上</b> 保有の株主様
当社カレンダーの御送付	<b>当社カレンダーの御送付</b> 当社カレンダーを御送付致します。		<sup>9月末における</sup> <b>7,000株以上</b> 保有の株主様
紀尾井ホール演奏会 への御招待(抽選)	「紀尾井シンフォニエッタ東京」の定期演奏会を はじめとした各種演奏会に御招待致します。	年2回案内 (3~7月頃、) (9~2月頃)	9月末・3月末における <b>50,000株以上</b> 保有の株主様

# 会社概要等

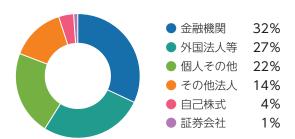
### 会社概要

商号	新日鐵住金株式会社 (NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION)		
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号		
資本金	4,195億円		
事業内容	製鉄、エンジニアリング、化学、新素材、システムソリューションの各事業		
従業員数 (連結)	84,361人(平成26年3月31日現在)		
上場証券取引所	東京、名古屋、福岡、札幌		
証券コード	5401		
発行可能株式総数	20,000,000,000株		
発行済株式の総数	9,503,214,022株(平成26年9月30日現在)		
株主数	539,726人(平成26年9月30日現在)		

#### 事業別売上高構成比(平成26年度上半期実績)



#### 株主構成別持株比率 (平成26年9月30日現在)



### 大株主の状況 (平成26年9月30日現在)

氏名又は名称	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	369,142	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	307,598	3.2
住友商事株式会社	262,690	2.8
日本生命保険相互会社	256, 265	2.7
株式会社みずほ銀行	182,600	1.9
株式会社三井住友銀行	146,470	1.5
明治安田生命保険相互会社	138,977	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	136,356	1.4
株式会社神戸製鋼所	134,882	1.4
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	103,070	1.1
計	2,038,054	21.4

# ■ 新日鐵住金グループ企業理念

#### 基本理念

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、 優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

#### 経営理念

- 1. 信用・信頼を大切にするグループであり続けます。
- 2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
- 3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
- 4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
- 5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

#### 株式事務の取扱いについて

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日、9月30日及びその他取締役会が定める日
単元株式数	1,000株
電子公告を掲載する ホームページアドレス	当社ホームページ http://www.nssmc.com/
定款及び株式取扱規程	当社ホームページの「株主・投資家情報」に掲載して います。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人 事務取扱所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (電話照会先) 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401 (フリーダイヤル) 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

#### ●住所変更、単元未満株式の買取 り・買増しのお申出先

株主様の口座のある証券会社 にお申出ください。

なお、証券会社に□座がない ため特別口座が開設されました 株主様は、特別口座の口座管理 機関である三井住友信託銀行株 式会社にお申出ください。

#### ●未払配当金の支払い

株主名簿管理人である三井住 友信託銀行株式会社にお申出く ださい。

#### ●単元未満株式の買取り・買増し に係る手数料

別途定める金額(当社ホーム ページの「株主・投資家情報」 に掲載していますので御参照くだ さ(い。)

## 新日鐵住金株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 TEL:03-6867-4111(代表)

ホームページアドレス: http://www.nssmc.com/







環境に優しい「植物油イ ンキ」を使用しています。